



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月25日

上場会社名 株式会社 富士通ビー・エス・シー
 コード番号 4793 URL <http://www.fujitsu.com/jp/group/bsc/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 基

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報IR室長 (氏名) 仲田 孝司

TEL 03-3570-3481

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	7,569	1.5	202	7.8	203	6.8	126	
29年3月期第1四半期	7,684	2.3	188		190		15	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 149百万円 (%) 29年3月期第1四半期 8百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	10.74	
29年3月期第1四半期	1.34	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	21,330	15,743	73.6
29年3月期	23,282	16,052	68.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 15,704百万円 29年3月期 15,993百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		13.50		13.50	27.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		13.50		13.50	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,800	1.6	500	7.8	470	5.3	320	49.5	27.12
通期	33,000	2.9	1,500	6.1	1,450	5.7	850	39.4	72.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	11,800,000 株	29年3月期	11,800,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	542 株	29年3月期	542 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	11,799,458 株	29年3月期1Q	11,799,458 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

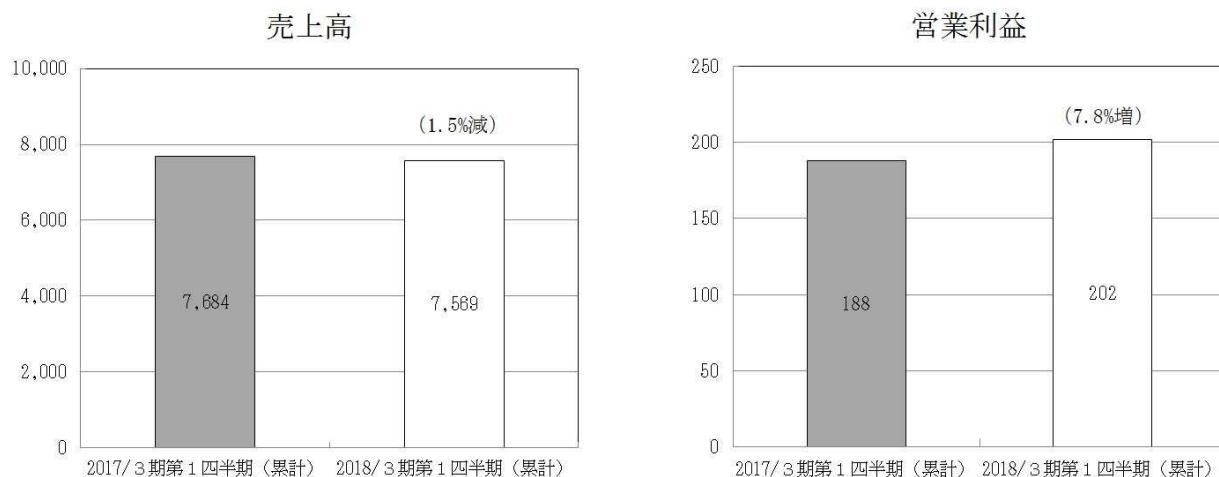
当第1四半期連結累計期間(2017年4月1日～同年6月30日)における国内経済は、企業収益の回復や雇用情勢の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国新政権への政策不安、及び中国を始めとする新興国経済の不確実性等、景気の先行きについては不透明感を払拭できない状況が続いております。

情報サービス産業においては、IoT、ビッグデータ、クラウド等の企業の課題解決と成長に寄与するICTサービス、巧妙化するサイバー攻撃に対応するサイバーセキュリティ、及びAI、自動運転等の先進技術に大きな期待が寄せられる一方、経済の先行き不透明感の継続により、企業のIT投資意欲も総じて引き続き慎重に推移しました。

このような状況の中で当社グループは、新規商談の発掘及び既存顧客からの継続受注獲得に努め、利益確保に努めてまいりました。また、社員の意識改革を主とした会社の体質改善及び将来に向けた経営基盤の強化に引き続き取り組んでまいりました。

その結果、売上高については、エンベデッドシステム、サービス他が前年に引き続き好調だったものの、インテグレーションサービスの回復が遅れ、売上高は7,569百万円(前年同期比1.5%減)となりました。しかし、不採算プロジェクトの抑制施策が引き続き機能していること、及び生産性向上の取り組みにより営業利益は202百万円(前年同期比7.8%増)、経常利益は203百万円(前年同期比6.8%増)と改善いたしました。親会社株主に帰属する四半期純損失は126百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益15百万円)となりました。これは繰延税金資産の取り崩しによる一時的な損失です。

(単位:百万円、○内は前年同期比)



2018年3月期第1四半期連結業績(前年同期比)

(単位:百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		前年同期比	
	第1四半期	百分比	第1四半期	百分比	増減額	増減率
売上高	7,684	100.0%	7,569	100.0%	△115	△1.5%
営業利益	188	2.5%	202	2.7%	14	7.8%
経常利益	190	2.5%	203	2.7%	13	6.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	15	0.2%	△126	△1.7%	△142	-

(事業区分別の売上高)

事業区分別の売上概況は以下のとおりです。

当第1四半期連結累計期間において、業種横断的なソリューションビジネスを集約する目的で、インテグレーションサービスに、「ソリューション開発」区分を新設しました。

(インテグレーションサービス)

売上高は4,578百万円となり、前年同期に比べ9.5%の減収となりました。

ソリューション開発は、CRM商談が活発化しているものの新規受注に繋がらず、前期までの保守・維持系プロジェクトも伸び悩みました。

社会基盤・ネットワークシステムは、ネットワークにおける認証系・MVNOビジネスが好調、エネルギーは電力系開発案件が継続したものの、通信キャリア向けの落ち込みが売上減に繋がりました。

産業・流通システムは、建設業向けERPパッケージ(CAP21)が、既存顧客のシステム更改や新規商談に伴い活発化しているものの、前期に発生した不採算プロジェクトの収束に伴う要員の他プロジェクトへの展開が遅れたことに加え、大型商談の立ち上がり遅延等が影響したことにより、減少となりました。

金融・公共システムは、共済・保険が前期からの顧客アプローチ強化により確実に売上を拡大したものの、官公庁系の金融公共基盤プロジェクトの開発規模縮小、金融勘定系プロジェクトの収束が影響しました。

(エンベデッドシステム)

売上高は1,207百万円となり、前年同期に比べ1.3%の増収となりました。

デジタルカメラは既存顧客の継続受注により売上が拡大したものの、車載機関連については新規商談の遅れ等により新分野の領域拡大に繋がらず、概ね前年同期並みとなりました。

(サービス他)

売上高は1,783百万円となり、前年同期に比べ24.4%の大幅な増収となりました。

コンシューマ向けSIはコンテンツ配信システムを中心に継続受注、K5(※1)の規模拡大(PaaS開発、IaaS支援・運用及びバージョン展開、インフラ構築等)を主因として売上拡大に貢献しました。また、セキュリティ意識の高まりを受けて、FMRM(FENCE-Mobile RemoteManager)クラウドサービスが運輸業向けに展開が進み好調に推移しました。

(※1) K5(FUJITSU Cloud Service K5) : 富士通のノウハウとオープン技術を融合した、新しいクラウドサービス

(単位：百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
インテグレーションサービス	5,059	4,578	△481	△9.5%
ソリューション開発	688	599	△88	△12.9%
社会基盤・ネットワークシステム	1,766	1,726	△39	△2.3%
産業・流通システム	1,362	1,176	△186	△13.7%
金融・公共システム	1,242	1,075	△166	△13.4%
エンベデッドシステム	1,192	1,207	15	1.3%
サービス他	1,433	1,783	350	24.4%
合 計	7,684	7,569	△115	△1.5%

※2017年4月1日に実施した事業区分の見直しに伴い、2017年3月期第1四半期の売上高を組み替えております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売掛債権の減少等により前連結会計年度末に比べ1,952百万円減少し、21,330百万円となりました。負債は1,643百万円減少し、5,586百万円となりました。純資産は309百万円減少し、15,743百万円となり自己資本比率は73.6%となりました。

また、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ814百万円増加し、10,198百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,025百万円の増加(前年同期は603百万円の増加)となりました。これは主に、売上債権の回収が進んだことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、52百万円の減少(前年同期は18百万円の減少)となりました。これは主に無形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、157百万円の減少(前年同期は151百万円の減少)となりましたが、これは主に配当金の支払によるものです。

[キャッシュ・フローの状況]

(単位:百万円)

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	603	1,025	421
投資キャッシュ・フロー	△18	△52	△33
財務キャッシュ・フロー	△151	△157	△5
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,559	10,198	639

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における営業利益及び経常利益は好転しておりますが、第2四半期会計期間において事業基盤強化や構造改革等に伴う追加費用の発生が見込まれることから、2018年度3月期の業績予想については、2017年4月26日に公表いたしました業績予想から変更いたしておりません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,083	1,598
預け金	8,300	8,600
受取手形及び売掛金	9,617	7,052
たな卸資産	149	157
繰延税金資産	768	424
その他	376	507
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	20,289	18,334
固定資産		
有形固定資産	1,777	1,763
無形固定資産	350	359
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	404	411
その他	461	461
投資その他の資産合計	865	872
固定資産合計	2,993	2,996
資産合計	23,282	21,330
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,620	2,134
役員賞与引当金	15	11
受注損失引当金	22	4
その他	4,071	2,924
流動負債合計	6,730	5,074
固定負債		
役員退職慰労引当金	113	108
退職給付に係る負債	130	143
資産除去債務	179	179
繰延税金負債	75	80
固定負債合計	498	512
負債合計	7,229	5,586

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,970	1,970
資本剰余金	3,012	3,012
利益剰余金	11,105	10,819
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,087	15,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	3
為替換算調整勘定	22	21
退職給付に係る調整累計額	△120	△123
その他の包括利益累計額合計	△94	△97
非支配株主持分	58	39
純資産合計	16,052	15,743
負債純資産合計	23,282	21,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
売上高	7,684	7,569
売上原価	6,319	6,172
売上総利益	1,365	1,397
販売費及び一般管理費	1,176	1,194
営業利益	188	202
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	9
保険事務手数料	2	1
その他	3	0
営業外収益合計	16	12
営業外費用		
固定資産廃棄損	-	2
事業構造改善費用	-	7
その他	14	1
営業外費用合計	14	11
経常利益	190	203
税金等調整前四半期純利益	190	203
法人税等	181	349
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9	△145
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△18
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	15	△126

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9	△145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
為替換算調整勘定	△6	△2
退職給付に係る調整額	6	△2
その他の包括利益合計	△1	△4
四半期包括利益	8	△149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17	△130
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	190	203
減価償却費	42	46
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△192	△18
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△37	△5
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	△4
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△2	△6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8	14
受取利息及び受取配当金	△11	△10
支払利息	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	2,045	2,563
たな卸資産の増減額(△は増加)	△106	△9
仕入債務の増減額(△は減少)	△172	△841
長期未払金の増減額(△は減少)	△449	-
その他	△686	△903
小計	604	1,029
利息及び配当金の受取額	11	8
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△11	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	603	1,025
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△5
無形固定資産の取得による支出	△18	△46
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18	△52
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	2
配当金の支払額	△151	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151	△157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	431	814
現金及び現金同等物の期首残高	9,127	9,383
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,559	10,198

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。